

# 第1分散会) 議事メモ) ふれあいトーク

平成28年8月16日(火) 14:30~

記録者: 岩倉市市民活動支援センター山口博昭

会場: 会議室1

## 参加者

**市民活動団体:** 鬼頭 (イキイキライフの会)、小林 (熟年さわやかセミナー企画委員会)、山田 (岩倉鳴子おどりの会五条川桜)、杵本 (「命の未来を想う」プロジェクト)、山田 (ユリの木を地元の誇りに育てる会)、藤江 (シオン倶楽部)

## 議員

桜井、塚本、鬼頭、木村、宮川

**小林 (以下、小):**

- ・テニス協会として野寄のコートを使っているが、雨天の場合(雨天時はコート閉鎖)翌日から1ヶ月以内で振替の日を決めなければいけないことになっている。払い戻しできるようにするか、振替可能期間をどうにか出来ないか?
- ・テニスコートが空いているのに体育館で受付をしなければならない。テニスコートで受け付けてもらえるように出来ないか?
- ・以上について、市民の声で提案したことがあるが前向きな回答を得ることが出来なかった。

**ユリの木山田 (以下、ユリ):**

- ・小牧市では登録カードを示せば予約がカンタンにできるようになっている。

**木村 (以下、木):**

- ・他市町のサッカー場では、もっと長い期間振替の対象になっている。

**宮川議員 (以下、宮):**

- ・即答出来ないので、市とキャッチボールをしながら回答します。

**木:** 市民の声の情報は開かれていない。議員は見る事ができない。事務局長は見ているのか? 議長が見ることができればいいのではないか?

**杵本 (以下、杵):**

・公園等公共の場の草取りなどボランティアでやっている場合と、業者が行なっている場合がある。業務とボランティアの線引はどうなるのか?

**木:** 公園は区が管理していたり市民がアダプトプログラムで行なったりしている。

県道の脇に茂っている草等はよく声に上がる。その場合は市に要望して市から県へ要望し対処しているが時間はかかる。

**宮:** 民業を圧迫しないようなジャッジメントのあり方を検討する必要がある。

**イキイキライフの会鬼頭 (以下、イキ):**

・駅から一宮への県道のバス通の南側が雑草が伸びっぱなしになっていた。背丈ほど伸びていた。自分の地域なのでチョットずつでもと思い抜いていたが腰を傷めた。見かねた知り合いが県に掛け合い県が重機で掘り起こし一時的にはキレイになった。新柳の通り等はボランティアがキレイにしているようだ。その場所が、県のものでも市のものでも地域の人間には関係がない。

・犬山や一宮ではトラクター作業をまとめて請け負っている人がいるが、高齢化で引き受けてもらえなくなっているようだ。このままでは地域での農業が存続しなくなっていくのではないか?

50年先100年先を見据えて市議会の方でも考えていってほしい。

**宮:** 議会として受け止めて回答します。

**桜井議員 (以下、桜):**

・JAが農地バンクを行なっている。遊休農地の情報を集約して発信するもの。若い人には農業に関心のある人もいる。制度設計の必要性は感じている。

ユリ：新柳通りのユリの木の花を咲かせる為の活動を行っている。月2回（落ち葉の時期は毎週）道路沿いのゴミ拾い活動を行っているが、年齢的に自分もいつまでもやれない。やはり地域の人が協力してやっていくのが一番良いのではないか。桜並木も地域の人と保存会が協力してキレイにしていると聞く。地元を誇りに思わないと行動がおこなならない。

・市長は緑を大切にすることを何度か話している。市議会では何か緑について話しているのか？

宮：道端の清掃や雑草除去に関しては、県はお金はあるが目がない。区はお金はないが目がある。市は人員不足で作業に追われている。考えていくテーマだと思う。

木：団地近くの矢戸川脇の雑草除去も年二回やってもらっているが伸び放題の時期もある。県の管理の場所については働きかけ続けていかなければ変わっていかない。

・市民の自発的な意志であるアダプトプログラムを推進していくこと。

・農地に関しては集約化が進んでいる。大きな規模の農業は都市部ではやりにくい。農地の宅地化や後継者の問題等ある。そんな中でも市民には農業に関心のある人も多くいる。市民農園も足りないくらい。農家が農地を提供できるような仕組みを検討している。

藤江（以下、藤）：

・若い世代は家庭菜園的なレベルには関心が高い。農地をイベント的に使用したり、シェアして利用したり、レクチャーする人がいればもっと利用することができると思う。

木：農家と事業者が農業の推進に絡めればいいと感じる。

宮：農地法がネックになっていることが多い。そこについては商工農政課が詳しい。JAと農政課の役割が大きい。

五条川桜山田（以下、五条）：

・五条川桜も出演する鳴子おどりの全国的なイベント「ど真ん中まつり」のポスターを生涯学習センターに掲示してもらおうとしたが断られた。生涯学習課に交渉に行っても断られた。教育委員会で検討してもらおうとしたがダメだった。

宮：なぜダメだったのか具体的に聞いておきます。

ユリ：福井の原発に関してどう考えているのか？隣接した県ではないのが、この地域でも伊吹おろし等で3・4時間で影響がでるといわれている。

宮：ヨウドを18歳以下全員分備蓄している。消防署に放射線の防護服がある。事故時の対応については議論していない。

木：以前、他の議員が市長に質問したりはしている。現状は岩倉市としても、岩倉市議会としても意見書等で意志を示してはいない。

木：農地は市民が農を手伝うことができる仕組みがある。その仕組みを企業や団体に知ってもらうように行政から情報発信があればいい。

宮：農に関する制度等は一般の方には関係が薄いので情報も行き渡らないのではないか。

木：農地を計画的に残すには、地域で協働した取り組みや農業体験等が必要ではないか。

宮：世代交代が進み、土地に対する執着心が薄れ、個人レベルの乱開発が進んでいるのではないか。総合的に考える必要があると思う。

桜：碁盤の目のようになって道路に面した田んぼにはたくさんのお金がかかっているが、その意識は少なくなってきた。

鬼頭議員：ブラジル人の派遣会社の社長が農地を借りて農業をおこなっている。やり方によっては企業と農業を連携させていく方法もあると思う。

以上

## ふれあいトーク(第2分散会)議事メモ

日時：平成28年8月16日(火)

14:40~16:06

場所：市民プラザ 会議室2

参加者：岩倉市議会議員5名、議会事務局1名、インターンシップ生他2名

市民活動団体6名、一般2名、市民活動支援センター1名、合計17名

五十嵐(食と健康実践塾)、長谷川(岩倉五条川桜並木保存会)、平田(イキイキライフの会)、  
竹内(岩倉生涯学習市民の会)、倉知(岩倉生涯学習市民の会)、小林(子どもハートクラブ)、  
追分(一般)、南川(一般)(敬称略、順不同) 記録：岡本(市民活動支援センター)

資料：岩倉市議会基本条例逐条解説、アンケート、

司会進行：梅村議員

### ◎ 意見交換

#### 〈 市民参加条例と住民投票 〉

Q 自治基本条例に基づいて市民参加条例が施行されたが、検討段階とフォーラムには入っていた住民投票がなくなっていた。キモが取られた思いだ。義務(市民協働)を課すなら権利(住民投票)を全うすべき。市のホームページには「今回は含めないことになりました」の一文があるだけで説明もない。住民投票を外したのはなぜか？ 今後議会としてどうしていくのか？

A・外国人の投票について議論が分かれた。住民投票も含めると市民参加条例の施行が遅れてしまうため、外されたのだろう。

- ・市議会として住民投票に関して反対はしていない。
- ・議会が通さなかったのではなく、行政側が外してきた。
- ・住民投票については今年度中に作る意向と聞いている。

意見 ・外国人参加の問題を議会としてどう扱うかを考えなければいけない。  
・議会としてまとまった対案をもちながら進めてほしい。  
・議会側から「出さないのか」と問うてもいい。

#### 〈 会場の予約 〉

意見 公共施設の6ヶ月前予約は、市民プラザでは可になったが自分たちの主な活動場所である生涯学習センターではなかなか進んでいない。6月に政策提案制度で出したが、生涯学習課には伝わっておらず、返答もない。行政内部は旧態然で進まない。

予約状況の問い合わせに対しても、3か月前月初に申し込むまで開示されない。

半年前には公的に押さえている予定をオープンにしてほしいが、現場では初めからNOと門前払いである。自前講座や裏えんぴつ書きで事前に押さえられ、借りられないこともある。

予約した後でキャンセルされたこともある。フェアでない。

イベントの準備に予定が立たない。市民活動を阻害している要素を取り除くことが大切。

A・6月議会で提案した。機会あるごとに執行機関に働きかけている。  
前向きに検討していると思う。今年度中には返答が出るだろう。

## 〈 市民協働 〉

- 意見**
- ・市民参加条例施行後も職員の意識が変わっていない。
  - ・協働に向かってと決めているのに、現場は旧態のまま。環境は変わっている。
  - ・市民と向き合って仕事をしてほしい。市の体制を変えれば可能だ。
  - ・市民に向き合うつもりがあるのか？誰にどうやって働きかけたらいいのか？
  - ・現実はずんずん動いている。高齢化・少子化に向けた包括支援の増員を。
  - ・縦割り行政を変えないと変わらない。協働推進課にもっと人と力を。
  - ・市民と役所が手を組んで一丸となってやっていくべきだ。
  - ・他地区の事例を勉強して取り組まなければ間に合わない。
  - ・危機感を持ってやってほしい。

## 〈 市民活動とお金 〉

- 意見**
- ・市民活動助成金が3年で切れる。また年々助成率が下がる(7→5→3割)。  
高齢化社会が進みコミュニティの場づくりのための活動をしているが、3年過ぎても良い事業には継続して助成するような制度を作してほしい。
  - ・タウンミーティングで恒久的に行なう事業への助成について話した。「検討します」とのことだったが、まだ返答がない。
  - ・桜並木保存会は市から助成はなく、募金と会費で動いている。必要な道具の購入にも対応してもらえない。市からの委託等できないか。
  - ・これから益々協働でやろうとするなら活動の環境を整えてほしい。
  - ・老舗団体には委託事業で手厚く大きなお金が流れている。不公平がある。
  - ・団体を育てるために「お金の精査」「見直し」を
- A**
- ・行政がやるべきことを市民にやってもらっているとの考えから助成金制度を作った。
    - ・行政がやるべきことを精査して、外部委託も可能だ。

- 〈 **要望** 〉
- ・まちづくりカレンダー：字が小さく、高齢者には見にくい。
  - ・要望は「市民の声」に入れてくれと言われた。
  - ・市民が要望をあげて行政を動かすことが大切。それがなければ岩倉が良くならない。

## 〈 公共施設の再配置 〉

- Q** 再配置に市民参加を前提とした見直しをしてほしい。(市民プラザは暗い、駐車場が少ない、打ち合わせの場所がない) 再配置計画に対する議会としての意見は？
- A**
- ・削減目標数値は16%(国からの指示と予算)(学校2校分)
    - ・勉強会を都市整備課と開いた。
    - ・特別委員会を作り行政側と話し合っていく。
- 意見**
- ・勉強会は「全体像」と「将来像」を持って進めてほしい。
  - ・削減ありきの計画はおかしい。

## 〈 感想 〉

- ・5万人位の市は議員と近くてとてもいい。大事にしてほしい。(名古屋ではないこと)
- ・自分のこととして話が落ちる良い会だ。
- ・もっと時間を取れないか。エンドレスでもいい。
- ・今回のようなお盆の時期の開催は避けてほしい。

以上

## ふれあいトーク～ 市民活動団体と市議会との意見交換会

開催日時：平成 28 年 8 月 16 日（火）

開催場所：市民プラザ 多目的ホール・第 1 会議室・第 2 会議室

### <第 3 分散会> 多目的ホール

- (参加者) 年金勉強会サークル：柴原  
岩倉市要約筆記サークルさくら：田中・得能  
岩倉 9 条の会：猪飼  
NPO 法人イキイキライフの会：江間  
のらり：水野  
一般参加：桜井・上田  
市民プラザ：安江  
市会議員：5 名

### <協議事項>

- (安江氏) 市民活動に参加している議員の活動内容と、市民活動に参加する意志についてお聞きしたい。
  - (黒川議員) 水辺を守る会、五条川桜並木保存会など各種活動している。他にライオンズクラブにも参加
  - (須藤議員) 水辺を守る会・五条川桜並木保存会・五条川桜などの賛助会員
  - (鈴木議員) 体育協会のゴルフ部、山車保存会、昭和会、ライオンズクラブにも新規入会
  - (伊藤議員) 山車保存会の賛助会員
  - (榎谷議員) 和太鼓の会、9 条の会、要約筆記サークルさくらなどに入会している。
  
- (江間 氏) 私はカメラが趣味で色んな写真を撮っています。  
( . . . . . )

- (黒川議員) のらりの水野さんにお聞きします。

市の保有する農地が野寄地区などに数か所(7,000 m<sup>2</sup>程度)あり、管理に困っている。水野さんは農業体験塾をなさっていますが、市の土地を利用してそういった活動をすることはできないか。

(水野 氏) 農業塾は北島で自前の農地を利用して1回/月、開催している。農業体験塾では無農薬で有機栽培をしているので、市民農園などでそれが可能かどうかは問題です。畑に草が生えると周りからクレームが出る。

今は無理ですが、体験塾の参加者が増えているので市のバックアップがあれば今後検討してもよい。

(榊谷議員) ひきこもりの人が農業体験によりイキイキしてきたと言う例もある。

(桜井 氏) 雑草の問題は鳥が種を食べて、その糞が畑の草を増やしている。以前にヌートリアを捕獲するための仕掛けでけがをしたことがある。

- (上田 氏) 私は盆踊りが大好きで色んな地区の盆踊りに参加しています。8月19・20日に市民夏祭りがあります。“みのりの里”で出店してクッキーを販売するので皆さん買ってください。

- (桜井 氏) ゴミについて、江南市のゴミ袋が四方結ぶ必要がなく便利。

(榊谷議員) 岩倉市も最近と同じ形式のゴミ袋に変わりました。

(江間 氏) ゴミのネットが他市では黄色だが、岩倉市は青色です。他市のように黄色の方がカラス対策に良いのでは。

(榊谷議員) カラス対策としては黄色でも青色でも変わらないとの調査結果があるそうです。

(黒川議員) 黄色のネットは青色と比べると耐久性があり長持ちします。したがってコストも高くなります。

(柴原 氏) ゴミ集積場に指定外の物をなんでも捨てていくので困っている。自治会で回覧板を回すなどしたが効果なし。他の自治会では、監視カメラを設置した所もあが、“不法投棄は犯罪”との立て看板とか、対応できないか。

(梶谷議員) 分別ゴミの前日収集は不法投棄が多いので当日朝の収集だけにして  
いるところが増えている。前日の収集をやめる方向で対応したらど  
うか。

(伊藤議員) 大山寺地区も前日のゴミ収集を取止めたが、混乱はなく普通に行わ  
れている。

(鈴木議員) 西市区も不法投棄が多くて困っていましたが、昨年当日だけのゴミ  
収集にしたら不法投棄はなくなりました。

(梶谷議員) 休日の収集場所として“清掃事務所”や“消防署の防災公園”が利  
用できることをもう少しPRした方が良い。“ボカシを作る会”や  
“ゴミを考える会”などの活動も参考になる。

● (柴原 氏) 国の政策に一億総活躍社会があるが、岩倉市の取組みはどうか。

(黒川議員) 具体的な策はまだ出ていない。国からの補助事業はまだ確定してい  
ない。今後秋頃には何らかの案が出るのではないか。

(柴原 氏) 県からの政策提案はないのか。

(黒川議員) 各自治体からの提案方式ではなかなか実現しない。

(柴原 氏) ゴミ問題を先進的な取り組みとして市で政策提案できないか。

(安江 氏) ゴミ問題は自衛的には区が対策する方が早いし良い。

● (得能 氏) 障害者連絡協議会の時に危機管理課から「災害時に障害者を避難所  
で受け入れるのは難しい」と言われた。福祉避難所は人数に限りが  
あることや、保護者が付き添う必要がある。障害者は“みのりの里”  
の方が安心して居られる。また、災害時の要支援者を区の役員と民  
生委員が支援することになっているが、議員はどのような活動をす  
るのか。

(黒川議員) 今年の防災訓練でも対応を確認しますが、対策支援本部設置し被災  
地域の情報収集行います。

(時間が来ましたので分散会は終了します・・・)

